

Cisco Process Orchestrator: Java ヒープ サイズの増加

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決策](#)

概要

この資料に Cisco Process Orchestrator (CPO) サーバ設定ファイルの Java ヒープ サイズを増加する方法を記述されています。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は CPO 3.0 またはそれ以降に基づいています

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

問題

ユーザは彼らはあらゆる Java 関連のアプリケーションの接続上の問題を、それらのアプリケーションの一般の失敗を見るか、または Java コンポーネントによるシステムクラッシュがあれば Java ヒープ サイズを増加する必要があるかもしれない。

解決策

Java ヒープ サイズは CPO サーバ設定ファイルで増加する必要があります。

次の手順を実行します。

1. CPO インストール ディレクトリに行ってください (たとえば `C:\Program Files\Cisco\Process`)。
2. CPO サービスを停止してください。
3. `Tidal.Automation.Server.Exe.Config` ファイルを編集してください。
4. `<Tidal.Scheduler.Common.Properties.Settings>` 見つけて下さい
5. `name= " AdapterHostJMVOptions<setting serializeAs= " " >` タグ見つけて下さい。それが無い場合、それを作成し、タグを `</setting>` タグと閉じるため。
6. `AdapterHost` タグの中で、`<value>-Xms16m -Xmx512m</value>` に値を変更して下さい。注: 大型システムが作りあれば、より大きいヒープをかもしれません第 2 値 `-Xmx1024m` 必要としなければならぬ。
7. ログの総エントリは次のように現われる必要があります:

```
<setting name="AdapterHostJVMOptions" serializeAs="String"> <value>-Xms16m -Xmx512m</value> </setting>
```
8. `Config` ファイルを保存して下さい。
9. CPO サービスを再開して下さい。